



『みんなの心がそろっ』

朝礼で、「靴がそろうと、みんなの心がそろう」というお話が校長先生からありました。「みんなの心がそろう」ことについて、子どもたちからは、「みんなの気持ちがそろう。」とか、「お互いの心がひとつになって気持ちいい。」といった返事が返ってきました。このことを日頃の生活の中で実現するのが香北小の子どもたちです。

「香北っ子」は、先輩から素晴らしい校風をしっかりと受け継ぎ、心の通う人と人とのつながりを大切にしています。

掃除は縦割り班でします。限られた人数ですから、時には教室を一人で受け持つこともあります。黙々と働きます。人手のいる所には、自分の分担当場所を済ませた子が当然のように手助けに行きます。

学校行事では、一人一人が主役となり、それぞれの個性を輝かせながら、心をひとつにして一生懸命取り組みます。

来校された方からは、「いい挨拶ができますね。心が伝わってきます。」

す。「素直な子どもさんですね。」等、お褒めの言葉をよくいただき、私たちもうれしくなります。

すばらしい子どもたち、そしてその子どもたちを温かいまなざしで見守り、慈しみ育てておられる保護者や地域の方々から、私自身、学ばせていただいております。

7月に、みんなで育てた小麦の脱穀をしました。

汗だくで働く子どもたち。ふと見ると大小様々な靴がきちんとそろっている光景が目に入りました。みんな



の心がそろっていたのでしようか。

今年の運動会のスローガンは、全校児童の「香北会議」で決めた『十六人みんながひとつ かがやけ香北っ子』です。きっと素晴らしい運動会になることと思います。

かけがえのない子どもたち。一人一人のすばらしい芽が、健やかに育ちますように。

鏡野町生徒指導推進連絡協議会

香北小学校 藤本玲子

のびのびひろば

芳野保育園では、敬老の日を前に、祖父母参観がありました。子どもたちは、祖父母の方と一緒に「吉備キビ桃太郎」の体操をしたり、運動遊び、ふれあい遊びをしました。



おじいちゃん、おばあちゃんとふれあって、楽しい時間をすごしました。



「まなびピア岡山2007」にちなんで“いつでも”“どこでも”“誰でも”“簡単に”できる体操をみんなで一緒にしました。



いつまでもげんきでいてね!



各クラスで、一人ひとりがおじいちゃん、おばあちゃんにプレゼントを渡しました。



ビックリするかな?!



年中、年長の子供たちは、おじいちゃん、おばあちゃんに心をこめてハガキを書いて、自分でポストに投函しました。